

チェロ

海野 幹雄

うんの みきお

東京都出身 神奈川県在住



©内山政彦

【所属マネジメント】

新演コンサート／株式会社カモシタピアノ

住所：〒160-0022 東京都新宿区新宿1-10-3
太田紙興新宿ビル1階

TEL：03-6384-2498 FAX：03-6384-2483

担当：保科 淳子、大森 ユリカ E-mail：desk@shin-en.jp

やってみたいアクティビティとコンサート

地域創造の登録アーティストになる前から今に至るまで、数多くの小学校でのアウトリーチを経験しました。回数を重ねるうちこだわる様になったことは、最初あまり興味がなさそうな顔をしていた子が、終わる頃にどんな顔をしているか。そういう子が最後、目を輝かせてくれていた時の達成感は何にも代えがたいもので、常にやりがいとなっています。

コンサートでこだわりたい事は、“わかりやすいトーク&本気の演奏！！”。クラシック音楽（特に器楽曲）は、聴きなれない方は難しく感じてしまうもの。それを、どういう内容の話で興味を引き、演奏が始まるまでの間に「聴いてみたい」という気持ちになってもらえるか。そして当然の事ながら演奏そのものは、聴衆がクラシック初心者だろうと耳の肥えたクラシック通だろうと関係なく、音楽の世界へ引き込み、音楽の素晴らしさ面白さ、それぞれの作品のもつ性格や表情を伝える様にしていきたいです。

自己PR

2人の息子の成長を間近に見ながらいつも感じるのは、本番を経験するごとに、自分も少しずつ成長しているということ。如何に聴衆の心に音を届けられるかを学ぶには、一生懸命に本番を重ねていく事が一番だと感じています。ソロにアンサンブルにと万能なチェロという楽器を選んでよかったと心から思っています。以前、老衰で意識のない義祖母の呼吸が僕のチェロを聴いた後に安定したという体験をしました。音楽が持つ力を信じ、チェロの響きの豊かさを伝えていきたいです。

PROFILE

著名な音楽一家（父は元N響コンサートマスター海野義雄、母は元都響首席チェリスト土田由紀子、叔父は元札響首席チェリスト土田英順、祖父は元N響ヴァイオリニスト海野次郎）に生まれるも、音楽教育を受けるタイミングを逃し、また小学校時代の数年をフランスで過ごす。14歳で母のチェロを聴きチェリストになることを決心、音楽を学び始めて1年4ヶ月で名門・桐朋女子高等学校音楽科に合格。その後桐朋学園大学アンサンブル・ディプロマコースに学び、倉田澄子、堤剛、木越洋の各氏に師事。ドイツ・ベルリンに短期留学し、ベルリンフィル・ソロ・チェリストのルートヴィヒ・クヴァント氏に師事、大きな影響を受けた。豊かな才能と経験の少なさのギャップに悩みつつ、努力の20代を経て31歳で東京文化会館でデビューリサイタルを開催。以降、毎年リサイタルを行っている。32歳で始めたサロンコンサート「Salon de violoncello」（横浜イギリス館）は好評のうちに150回を超え、

近年のリサイタルでも「作品の本質に迫り、深層からの解答を得ようとするかの様に確信に満ちた演奏を貫く」「覇氣と情熱と冷静沈着な洞察力を兼ね備えたチェリスト」等と評される。現在ではバロック、古典派、ロマン派から現代音楽まで幅広いレパートリーを持ち、抜群のリズム感、驚異的な暗譜力を持つ音楽性溢れるマルチなチェリストとして、ソロ、アンサンブル、オーケストラでの首席客演のほか、編曲や指揮も行う。おんかつ支援アーティスト同期のVn奏者 甲斐摩耶とのトリオ海（Meer）、作曲家 新垣隆とのデュオ・オリゴ他、数多くのアンサンブルで活動。NPO法人「ハマのJACK」理事。弦楽器専門誌「サラサテ」では2018年8月号に続き2024年6月号の表紙・巻頭特集に起用され注目を集める。CDは「白鳥～珠玉のチェロ小品集～」、ゴルトベルク・トリオ東京として「J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲」等があり、楽譜の校訂・刊行にも力を注いでいる。